

300 ^{99m}Tc-GSAによる肝疾患18例の検討

兼松雅之, 今枝孟義, 関 松蔵, 望月亮三, 土井偉蒼
(岐阜大学放射線科)

^{99m}Tc-DTPA-Galactosyl Human Serum Albumin (^{99m}Tc-GSA)を用いて種々の肝疾患について, 従来の^{99m}Tc-フチン酸との比較をまじえ, その有用性につき検討した。

^{99m}Tc-GSAの血中停滞率指標として心cpmの15分後/3分後比[HH15], 肝摂取率指標として15分後の肝cpm/(心cpm+肝cpm)比[LHL15]を求めた。HH15, LHL15は各種肝機能検査と良好な相関を示し, 肝機能を評価するひとつの指標として有用であった。特に, TAE, 肝切除術前後ではICG15分停滞率と相関を示し, 今後, 治療法の選択における有用性が期待された。

301 Tc-99m-GSA肝シンチグラフィによるび慢性肝疾患の肝機能評価

津田孝治, 村瀬研也, 棚田修二, 井上 武, 東野 博, 藤井 崇, 濱本 研(愛媛大学放射線科) 赤松興一, 大久保啓二(愛媛大学第三内科)

肝細胞膜表面にあるアシアロ糖蛋白レセプターと結合し肝に取り込まれる新しい肝シンチ製剤, Tc-99m-GSAを21名のびまん性肝疾患患者に投与し, 肝機能診断薬としての有用性について評価した。心及び肝に関心領域をとり, 得られた時間放射能曲線よりreceptor indexとしてHH15, LHL15を算出した。HH15, LHL15は肝の予備能を示唆する検査値と良好な相関を認めた。HH15, LHL15は簡単な指標であるが, びまん性肝疾患の評価や予後の推定などに有用であった。Tc-99m GSAのイメージング製剤としてのみならず新しい肝機能診断薬としての可能性が示唆された。